

テニスコート照明用ポールの点検のお願い

(株)GSユアサ ライティング事業部

1、 照明用ポールについて

照明用ポールは、設置場所（植栽部などの湿潤状態になりやすい、海岸近く海塩の影響を受ける場所など）、気象条件（雨量の多い地域、台風などの強風により揺れなどの多い地域など）、交通量（通行車両による振動など）など使用環境によるストレスにより腐食や金属疲労等の経年劣化が発生し、ポールの折損、照明器具の落下などにつながる場合があります、大事故となるおそれがあります。

外観上は目立った異常がなくても、内部で劣化が進んでいる場合も少なくありません。

鋼製照明用ポールには、経年劣化が生じるものであることをご理解いただき、点検・補修、ならびに早めの交換をお願い申し上げます。

(社)日本照明器具工業会では、JLA1018『鋼製照明用ポール 点検・診断のすすめ』を作成し、設置されているお客様に、点検・診断を勧めています。

私たちの生活を安全にかつ快適にする為、道路照明器材・街路照明器材・公園照明器材等が多く普及しています。それらの多くは、鋼製照明用ポールの一部に灯具を取付けた形態をしております。

これら鋼製照明用ポールは、設置場所、気象条件及び交通量などの使用環境によるストレスにより、腐食や金属疲労等の経年劣化を起こします。特にポール下部（開口部廻り、地際部周辺）は、他の部位に比べ早く劣化が進行する可能性が有ります(写真参照)。経年劣化が進行したポールをそのまま使用し続けると大事故に至る可能性が有ります。

しかし、そういった問題は管理者・設置者が日頃の点検・補修等の適切な処置を行うことによって未然に防ぐだけでなく、長期間ご使用頂くことが可能となります。

そこで(社)建設電気技術協会が昭和63年から平成7年にかけて調査検討し、平成11年12月に報告した「道路照明器具・テーパーポール経年劣化の実態と点検」を参考に、その他の照

明器材への適応を考慮し、管理者・設置者が行う鋼製照明用ポール劣化状態診断チェックリストをまとめました。

鋼製照明用ポールには、経年劣化が生じるものであることをご認識の上、適切な保守・点検を行い、安全性を確保した状態で使用して頂くようお願い申し上げます。



▲ 地際部が錆び、孔が開いた状態



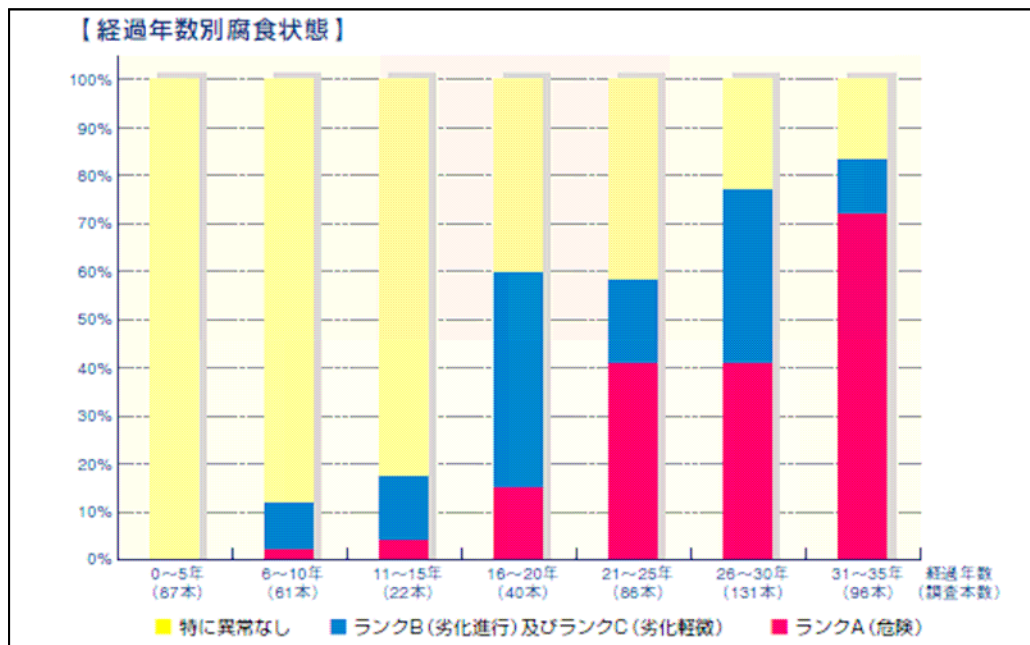
▲ 開口蓋を外した状態



▲ 地際部 犬の尿により錆びた状態



▲ 地際部 犬の尿により錆びた状態



ポール設置後、6～10年でランクA（危険）に至るような腐食進行したものが見受けられます。

2、 テニスコート用照明ポールについて

テニスコート用照明（スマッシュ7）も例外ではありません。

特にスマッシュ7用のポールは、地際部だけでなく、ポールアダプター部にも腐食による経年劣化が他の部位より早く進行する可能性があります。

ポール外観が直線上で見えにくい構造になっていますので、設置場所や設置年数によっては、内部で腐食や劣化が進んでいる場合が少なくありません。

特に、10年以上経過したポールは大変危険な状態になっている可能性があります。

日常の点検、ならびに専門業者の点検・診断、さらには早めの交換を是非とも実施いただきますようお願い申し上げます。

ポールアダプター部が錆びた状態



器具重量に耐えられず折損にいたるおそれがあります。

ポールアダプター部が腐食消失した状態



アダプターが消失し器具脱落に至ります。